NIE実践報告

1．タイトル：☆よく考え、確かな学力を身に付けていく子　~　算数科での新聞の活用を通して~

2．学校名

東京都板橋区立高島第三小学校

3．実践者名（代表者名）

菊池靖志

4．学年

第4学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

算数　54人

6．単元（本時の学習課題）名

およその数で表そう　~　がい数で表そう~

7．目標(狙い)

新聞の活用を通して、概数について理解し、目的に応じて概数を用いることができる。

8．評価の視点

新聞記事から概数を見つけるという外的な算数的な活動を通して、学習内容の理解を深め、概数についての興味を広げることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「およその数で表そう」（14時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①プレドリル（概数に関する練習問題を行う）
②教科書（東京書籍）に掲載されている新聞記事から、概数を見つけ、気づいたことを話し合う。
③新聞から概数を見つける。
④記事を切り取り、スクラップする。
⑤感想を書く。

（留意点）
・「約」や「およそ」がついていないものでも、概数になるものがあることに気をつけさせる。
・小学生新聞の方が、概数が見つけやすいので、子どもの人数分用意する。
・どれが概数が分からない子には、最初に教師の方で、どれが概数か教える。
・概数の部分だけでなく、そのまわりの記事や関係する写真なども、一緒に切り取らせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・がい数にはいろんなところで使われていることがよく分かりました。がい数にすればスムーズな文になることも分かりました。
・新聞など、人に見せる物で使われていることから、がい数は便利だということが分かりました。

12．成果と課題

・新聞で概数を見つけることで、子どもたちは、たくさんの概数が、新聞に掲載されていることを知った。そして、概数のスクラップ活動を通して、子どもたちは概数に対して、興味をもつことができた。
・文章を読み取ることが苦手な子は、新聞を見ても、記事を読み取らず、教師に「この数字は概数ですか」とすぐに聞きにくる子もいたので、全員が記事を読み取り、考えることができるようにしていきたい。
・算数科だけでなく、他の教科・領域でも、新聞を活用し、新聞作りなどにも生かしていきたい。そして、子どもたちが進んで新聞を読み、活用することができるようにしたい。